

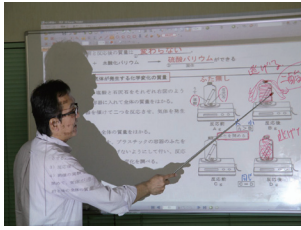
ホップ・ステップ



11/1 漢字検定を受ける中学生と小学生



11/16 数学検定 今回は小学生から浪人生まで10名が受検



11/9～10 1000分特講 2日間でおおよそ17時間、テスト範囲を集中的に学習、80点以上がった生徒が二人も!



11/16 中3生の関数特講 栗野君が活躍



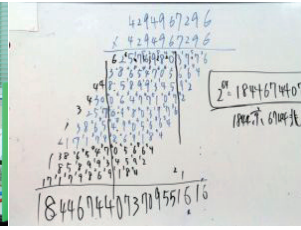
11/3 中3生の学力コンクール/終わってほっとする女子



11/16 6期生、岩瀬君の結婚式で友人代表が二人とも塾の卒業生だったことに驚き!翌日、大本先生がぎっくり腰に。



並んでホップ・ステップを読む 江南の野球部の先輩と後輩。



栗野君が2の64乗を計算 18446744073709551616 を正解

「7期生 渋谷優君からのメール!」
25周年おめでとうございます。
と、堅苦しいのは苦手なので乱雑に書かせて頂きました。(笑)
今日、塾長と電話してHPがあるのを知り見てました。何か：にやけて見てました(笑)二人とも老けたなとか、今思うと相変わらずはちやめちやな事やってるなと。
「今思う」と言うのは、当時の自分はそれをちやめちやと思わず、むしろそっちの方が本来普通なんだろうなって思っていました。うちの親の育て方もかな?」
今はどうか知らないけど、よく塾長が【変人】って言葉を使っていました。自分自身にも俺を含めた生徒にもよく言っていたかな。

今年、会社で永年勤続10年の表彰?とまではいえないけど軽い祝い貰ってます。それまでに色々な人に出会いました。会社だけじゃなくプライベートでも。それで最近になってよく思うのが先生たちも含め自分も親も世間一般的に見れば変人(少数派)なのかなって。
今、仕事してて思うのは何より重要な事は【考え方】。自分が周りと比較して一番自信を持っている部分でもあります。昔から自分の考え方ってごくごく普通で当たり前のものでずっと思っていました。周りもそういう人が多かったのだと。そうじゃない人が変人というか少数派だとずっと思っていました。それが31歳まで人生経験を積むとそれが逆な事に気が付かれます。
「いやいやいやいや、あんたら本気で言ってるの!」って思うことが多々。

自分で言うのも何ですが、特別な事も飛びぬけた事も何もやってないのに評価されます。プライベートの人間関係でも。自分だけじゃなく自分から見ても普通の人も回りに比べれば評価は歴然。
何か余計な話になっちゃいましたが、...。そこで、うちの親も相変わらず勝手にべらべらと喋ってるようですが【今の自分があるのは塾のおかげ】まあ、極端過ぎて全部が全部じゃないですけど。何が良かったって、その【考え方】です。
自分の考え方が正しいんだと思わせてくれて、伸ばしてくれて、背中を押してくれて。そして自分の中で良いのか悪いのかモヤモヤしてたのを明確にしてくれて。自分の考え方に自信を持てるようになったのは塾のおかげかなって思っています。
【変人】の他には【鋭い】って言葉です。これが自分にとってどれだけ嬉しくて自信になったことか。テストの点数がどうこうよりもその自分の考え方を認めてくれたときが何より嬉しく自信になりました。もしその鋭さが変人なら(実際は違いますけど)、変人を育ててあげて下さい。(笑)

冬期講座は21日から!
学んだことが定着するかどうか、これが成績アップのポイントです。最近の生徒はこの「定着」がなかなかしないという傾向が非常に強くなっています。「分かった!」などと言っているけど、翌日にはもう忘れていく、そんなことがとても多くなっています。また、テストでの単純ミスもとても多く見られます。やったことが無駄になるような「勉強したつもり」も結果に出せない大きな要因です。読解力のなさや考える力のなさも非常に目立ちます。自分が「できる」と確信するまで繰り返しやる必要があります。
冬休み、冬期講座、家庭学習を含め勉強する時間は十分あります。特に受験生は入試まで三ヶ月です。志望校に向けた学習計画を作り、責任を持って勉強することが必要です。高校生は一年前の冬から。

一流企業でそれなりにやれている奴が「ステップゼミナールの考え方は世間でも一流企業にもそれなりに通用する考え方が出来るとこだ」って自信持って言ってます。なんて、調子に乗った事言ってみました。そもそも先生たちの教え方以前に、考え方が何より良くて、それが生徒に伝わり、結果的にその時期は勉強という形で結果に出てるんだなって。そして習ったのが勉強じゃないところだからこそ、社会人になっても通用する人が多くて、未だに卒業生も通うし自分も心に残ってるんだと実感しています。それが変わってなくて良かったなって、電話で話して、HP見て思いましたし、思い出させてくれました。
何かありきたりに、お礼を言ったりするのもどうかと思つたのでこれで終わりにします。
※最近、この年になって親や親戚と話すのが面白いなって思えます。今の自分だから塾長らと出来る話もあるだろうし、新しい発見というか自分の成長に繋がる話も出来るかもって思つたので帰ったときは寄りたいと思います。
大塚毛中→釧路高専→TOSTEM

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	

●年末年始休み●1月4日
●中3土曜特講(予定)
●中3土曜特講(予定)
●冬期講座準備休み
●中3生冬期講座開始
●中1・2生冬期講座開始

携帯電話の持込は禁止。連絡は塾の電話を使用して下さい。

■12月の予定■

■バイト休んだ高3男子、現金を要求され自殺か■

名古屋市守山区の高校3年男子生徒（17）が金を支払うよう脅された後、自殺したとされる事件で、男子生徒が無料通話アプリ「LINE」やメールで複数回にわたり金を要求されていたことが、愛知県警への取材でわかった。

29日に恐喝未遂容疑で逮捕された同県小牧市小牧、派遣社員堀井紀宏容疑者（22）が支払期限とした9月27日に生徒は自殺したという。

守山署などによると、男子生徒は9月中旬、堀井容疑者から紹介されたアルバイトの待ち合わせ場所を間違え、仕事を休んだ。その後、堀井容疑者から再三にわたり金を要求され、自殺した日は最初の支払期限だったという。自宅には、家族や友達にあてた遺書らしいメモが残されていた。

10.31 YOMIURI ONLINE

「一度でいいから話してみたい」「おやすみって言う」

「神様が1日だけ魔法をかけてしゃべれるようにしてくれたら…」。産経新聞夕刊1面に毎日掲載している「夕焼けエッセー」。その1日付で掲載された大阪府岸和田市の小学6年生、森琴音さん（12）の「わたしの願い」が反響を呼んでいる。事故の後遺症で肢体不自由となり言葉も失った琴音さん。願いがかなうなら、「ただいま」と言ってみたく、お兄ちゃんに電話をかけたい、そして魔法がとける前に家族に「おやすみ」と言いたいー「それで じゅうぶん」とつづる。12歳の魂の声は、読んだ人々の心の奥深くを、優しくゆさぶっている。

父親の淳さん（35）は「肢体不自由になるまではよくしゃべる子供でした」と話す。だが琴音さんが3歳のとき事故で心肺停止となった。一命を取り留めたが、低酸素脳症の重い後遺症で下半身はまひし、声は出るが言葉にならなくなってしまった。

現在は岸和田市立東光小学校の6年4組で30人の同級生と学校生活を送る。しかし手を動かすのにも時間がかかるため一部の授業は支援学級「しいのみ」で受けている。発言の際は机上のひらがなの文字盤を指し示す。今年9月、エッセーはこの教室で生まれた。一緒に学ぶ肢体不自由の障害のある児童が書いた「一人で歩きたい、一人でごはんを食べたい、一人で字を書きたい」との詩を読んで、「わたしもおなじ」と文字盤を指したのだ。

同学級担任の西河月美教諭（46）が驚いて、「こっちゃんは何がしたいの」と尋ねると「しゃべりたい」。そこからやりとりを続け、時間をかけてエッセーを書き上げたという。西河さんは「2人で懸命に作業をしました。こっちゃんの温かい家庭が見えてきた気がしました」と話す。

完成したエッセーを読んだ父親の淳さんは「言葉を失った琴音の思いを初めて知った」と涙が止まらなかったという。ぜひ多くの人に読んでもらえればと、「夕焼けエッセー」への投稿を決めた。

掲載直後から産経新聞社には、はがきや手紙、メールが次々と寄せられた。「どうか神様、かなえてあげて…」（大阪府茨木市、女性）、「あなたのエッセーで家族のありがたさを考えさせられました」（大阪府和泉市、男性）、「文章を読んでこんなにすぐ涙があふれたのは生まれて初めて」（奈良県生駒市、女性）。子供が同じ障害があるという兵庫県尼崎市の母親からは「どうやって書いたの」との質問も寄せられた。母親の成美さん（36）は「温かいメッセージをたくさんいただいて感動しています」。

10月の運動会では組体操の輪に加わるなど、活発な琴音さんだが、一番の願いが「しゃべりたい」であるのは、「おにいちゃんとけんかしたいから」と屈託のない笑顔を見せる。残り少なくなった小学校生活でも友達とのおしゃべりが楽しみ。文字盤を使うのでなかなかスピードについていけないが、できれば「そんなっちゃうで」と“ツッコミ”をしてみたいと願う。

淳さんは「琴音ももっと言いたいことがあると改めて気付かされた。今まで以上に時間をとり、文字盤を使って会話したいと思います」と話している。

◇

森琴音 「わたしの願い」

わたしはしゃべれない歩けない

口がうまくうごかない

手も足も自分の思ったとおりのうごいてくれない



文字盤のついた机で授業を受ける森琴音さん＝大阪府岸和田市（松永渉平撮影）

一番つらいのはしゃべれないこと

言いたいことは自分の中にたくさんある

でもうまく伝えることができない

先生やお母さんに文字盤を指でさしながら

ちょっとずつ文ができあがっていく感じ

自分の言いたかったことがやると言葉になっていく

神様が1日だけ魔法をかけて

しゃべれるようにしてくれたら…

家族といっぱいおしゃべりしたい

学校から帰る車をおりてお母さんに

「ただいま！」って言う

「わたし、しゃべれるよ！」って言う

お母さんびっくりして腰をぬかすだろうな

お父さんとお兄ちゃんに電話して

「琴音だよ！早く、帰ってきて♪」って言う

2人ともとんで帰ってくるかな

家族みんながそろったらみんなでゲームをしながらおしゃべりしたい

お母さんだけはゲームがへたやから負けるやろうな

「まあ、まあ、元気出して」ってわたしが言う

魔法がとける前に

家族みんなに

「おやすみ」って言う

それでじゅうぶん

10.31 産経 NEWS WEST

簡単に、自分勝手に死を選択した高校生と大変な状況でも一生懸命生きる小学生。皆さんはこれをどう思うでしょう？ハンディを持っている人たちの方が生きることには真剣です。

今年の日本シリーズは、誰かのためにがんばる、誰かのために闘った楽天が圧倒的な戦力を有する巨人に勝ち日本シリーズを制しました。目的を達成するのに大事なこと、必要なことは何なのかがはっきり分かったシリーズだったと思います。

誰かのために行動し、社会に必要とされる人になることが自分自身を成長させる原動力になります。人生は一度しかありません。今できること、今やらなければならぬことをしっかりやる事です。

『教科書に載っていない関東、関西、上方』

関東、関西、上方（かみがた）。これらの言葉の語源は何か。時々こういう言葉の語源が気になるのです。

以前はテレビでずいぶんと時代劇をやっていましたが、「坂東武者」とか「関八州」などという言葉が耳に飛び込んできたものです。

「坂の東」とはどこか。かつての都、京都から向かって来て箱根の坂を越えた地域が「坂東」なのです。つまり、「箱根の坂の東」ということなのです。では、関東とは何か。「関」の東ということなのですが、この関とは何か（どこか）。「関所」の「関」なのです。ずっと昔は滋賀県の逢坂山にあった関所を中心として東西に分けて関東・関西とし、鎌倉時代になって箱根の関より東を関東と呼ぶようになりました。

上方とは、「上」はかつての都、京都を表す言葉でした。つまり、皇居のある方角の意味だったのです。また、「近畿」の「畿」は「みやこ」を意味し、「天子様が住むところ」を意味します。

漢字検定の結果

2級 2名 準2級 4名 3級 1名 4級 5名 5級 2名 6級 2名
7級 1名 が合格でした。合格証書は12月7日頃届きます。

中3生の個人面談を行います。

2日以降、学力A、B、Cや道コンの結果データをもとに、志望校へ向けての残り3ヶ月の取り組み方等について面談します。学校での三者面談ではA、B、Cの結果と現在の内申点で志望校を決定しようと思いますが、これからが本当の受験勉強です。志望校に向かって最後まで諦めずに頑張りましょう。

三者面談の前でも後でも相談があればいつでもどうぞ。（無料体験も実施します）